

デビッド・フング (David Fung)

香港生まれ、シドニーに移住。5歳よりバイオリンを、8歳でピアノを始める。12歳からオーストラリアン・インスティテュート・オブ・ミュージックでピアノをヴィクトル・マカロフ (Victor Makarov) にバイオリンをピーター・ザーン (Peter Zhang) に師事した後、ニュー・サウス・ウェールズ大学でマーガレット・ヘア (Margaret Hair) に師事。18歳の時に医者を目指し、奨学金を得て同大学の医学部に入学するも、音楽の道を選び、2年後に医学を中断。当時設立されたばかりの名門コルバーン・スクールに最初の唯一のピアノ専攻生として入学し、ジョン・ペリー (John Perry) に師事する。その後イエール・スクール・オブ・ミュージックでピーター・フランクル (Peter Frankl)、クロード・フランク (Claude Frank) に、ドイツ、ドイツ・ハノーファー音楽演劇メディア大学の教師アリエ・ヴァルディ (Arie Vardi) にも教えを受ける。

2013年エリザベート王妃国際音楽コンクールでファイナリスト賞、2008年ルービンシュタイン国際ピアノマスターコンクールで4位ファイナリスト賞ならびにクラシックコンチェルト賞、室内楽賞を同時に受賞。

デビッドはそのエレガントで洗練されたスタイル、深い詩情と豊かな表現の演奏家として広く評価されている。

これまでに、出身のオーストラリアの主要なオーケストラと全て共演、国際的にはイスラエルシンフォニーオーケストラ (ISO)、イスラエル・フィルハーモニー管弦楽団 (IPO)、ロサンジェルス室内管弦楽団、ベルギー国立管弦楽団、セント・ポール室内管弦楽団、サンディエゴ交響楽団、サンフランシスコ交響楽団、および廈門愛楽楽団 (Xiamen Philharmonic Orchestra) と共演。

世界的なコンサートシリーズやフェスティバルにも頻繁に招聘されている。アスペン・ミュージックフェスティバル、イタリア、バリ市国際ミュージック、エディンバラ国際フェスティバル、ラヴィニアなどのミュージック・フェスティバルに出演しており、イタリアのバリ市国際フェスティバルでは毎年アート・ダイレクターを務め、今年で4年目となる。

また、ニューヨークのカーネギーホールやロンドンのウイグモア・ホール、ブルッセルのパレ・デ・ボザール、台湾国立コンサートホールなど世界の有数のホールでコンサートを行ってきた。

2014/2015年シーズンではサンフランシスコ・シンフォニーオーケストラと陳其鋼 (チェン・キガン) 作曲のコンチェルト「Er Huang (二黄)」をラン・シュイ指揮で共演し、台湾、メルボルン、セント・ポール、イスラエルにおいてラヴェル、プーランクなどのピアノ・コン

チェルトを演奏する。カナダやフィンランドにおいては絶賛を受けているモーツアルトのコンチェルトを弾く。また、香港アーツ・フェスティバルや中国や台湾でのソロコンサートツアーを始め多くのソロコンサートが予定されている。

これまでに Yarlung レーベルから2つのアルバムを出している。最初のアルバムはリストとラヴェルでリストのソナタ短調やラヴェルのラ・ヴァルスを含む。2番目のアルバム「Evening Conversations」はソロリサイタルの実況録音でモーツアルトからタン・ダンまでの名曲が収録されている。このアルバムはアメリカン・レコードガイドで高く評価され、リン・レコーズ (Linn Records) でも 2011 年の上位 10 位にランクされた。デビッドは室内楽奏者としても活躍しており、アメリカの作曲家ローレンス・ディロン (Lawrence Dillon) のピアノとバイオリンの全作品をバイオリン奏者のダニエレ・ベレンと録音している。

詳細は www.davidfung.com/